



JAPANESE RED CROSS NAGOYA DAIICHI HOSPITAL

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

日赤なごや



Vol. **53**
2016. Summer



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター
造血幹細胞移植推進拠点病院



Japan Council for Evaluation of Regional Clinical Training

Professional Style

長野 佑衣子さん

Medical Frontier

腎泌尿器内視鏡外科 部長
服部 良平医師

ふれあい通信

- 名古屋第一赤十字病院奉仕団
感謝状贈呈式を開催しました。
- 「幸福」が訪れますようにと、願いを込めて。
ANAグループ すずらん贈呈

おクスリ豆知識

飲んでいるお薬の情報についての話



Professional Style

プロフェッショナル
スタイル

Vol.53

表紙のひと
呼吸器内科 医員
ながの ゆいこ
長野 佑衣子さん

患者さんと 同じ目線で考える。 同じリズムで呼吸する。

尊敬する先生方に出会った場所で、 医師として歩みはじめます。

呼吸器内科は、気管支炎や肺炎、喘息、肺がん、間質性肺炎、気胸等、肺に関わる病気を診療しています。

患者さんは、咳やたん、呼吸苦等を理由に来院されることが多いのですが、同じ症状であっても原因は様々で、感染症であったり、腫瘍であったり、薬剤の影響であったりします。患者さんへの問診や画像所見から診断に近づくこともあります。

呼吸器内科に興味を持ったのは大学の実習の時でした。患者さんに寄り添いながら、多種多様な疾患を診療している先生方に出会い、感銘を受けたことがきっかけです。

当院には、上級医・若手医師ともにスタッフの数が多く、診療体制は充実

しています。アットホームな雰囲気、外科の先生やコメディカルの方々ともコミュニケーションをとりやすい環境です。

後期臨床研修医*として実際に働きはじめてみると、病態や治療について悩むことはたくさんあります。しかし、周りの先生方に相談しながら検査や治療を行って、患者さんの症状が改善していくのを見ると、やはり医師としてやりがいを感じます。

普通のことを普通以上に 心を込めてやるのが大切。

私は、主に入院中の患者さんを担当し、病棟で業務を行っています。

患者さんにとって病院は非日常の空間なので、少しでも不安を解消できるように配慮しています。

例えば、回診の最後には必ず「困って

いることはありますか」とお聞きします。すると、夜なかなか寝つけないとか、ここ数日食が進まない…など、患者さんご自身が「診療で言うほどではないと思うけど、少し気になっていること」等を話していただきます。それを科内に持ち帰り、他の先生方に相談したり、看護師さんや薬剤師さんと情報交換したりして、次の治療にあたります。

普通のことを、普通以上にやること。これは、地域実習の際に指導医の先生から言われた言葉です。「特別な能力を持つのは素晴らしいことですが、普通のことを普通以上にやることも、また素晴らしい」と教えていただきました。

臨床医として、一人でも多くの患者さんのお役にたてるよう、自分のペースで地道に努力を重ねていきたいと思えます。

*医師国家試験に合格後、2年間の初期臨床研修を経て、専門領域にて経験を積む医師



おクスリ 豆知識

第40回

飲んでいるお薬の情報についての話

みなさんは、自分が飲んでいる薬の名前や効果、飲み方を言えますか？

熊本県を中心に大きな地震災害が起こり、被災された方々の生活は一転し不自由を強いられています。多くの医療機関も被害があり、患者さんの治療に影響が出ました。通常、患者さんの情報はカルテに保管され、その情報をもとに治療が行われていますが、このような災害では医療機関の機能が止まってしまう、患者さんの薬や治療の内容が分からなくなることがあります。この

様な場合に薬の名前や効果、飲み方を医療関係者に言えるでしょうか。

現在、病院で処方できるお薬は1万以上あります。その中には、例えば血圧の薬のアテロック、アレルギーの薬のアレロックなど、名称が似ていても効果が全く違う薬もあります。また、患者さん個々には、これまでに使った薬で、体に合わないものがあるかもしれません。

お薬に関する情報を持ち歩くことができるものとして、おクスリ手帳と薬剤情報提供書

があります。おクスリ手帳にはこれまでに処方された薬の内容が記載されており、アレルギー歴や禁止薬剤の記載も可能です。薬剤情報提供書はいわゆる“おクスリの説明書”で、処方された薬の名前、服用方法、効能、副作用などが書かれていますので、最新の薬剤情報提供書をおクスリ手帳に挟んでおくよりわかりやすいと思います。災害時など、いつでもご自身の薬について医療関係者に説明できるように準備しておくのも大事なことです。

手術の傷あとを できる限りつくらない、 患者さんにやさしい治療へ。

大きく切り開く手術から、 小さな傷の腹腔鏡手術へ。

当院には、腎がんや腎盂腫瘍、副腎腫瘍、膀胱がん、前立腺がん等、手術が必要な患者さんが多く訪れます。

腎臓や副腎など、泌尿器の多くの臓器は胃や腸の裏側にあたる体の奥深い場所にあるため、内視鏡や腹腔鏡を用いた手術が活用されています。

内視鏡手術とは、口や尿道等、もともと体にある穴(開口部)に、小型カメラやメスを挿入して行う手術です。当院では、主に膀胱がんや尿路結石の患者さん等に内視鏡手術を実施しています。

腹腔鏡手術とは、内視鏡手術の一種で、体に3~4か所、数mm程度の穴を開け、そこから器械を挿入し、モニターを見ながら臓器の摘出等を行う手術です。開腹手術と比べると、切開の傷が小さいため、痛みが少なく、社会復帰も早いのが特徴です。従来の手術より少し時間はかかりますが、腎臓や副腎、尿管等の腫瘍には保険がきくため、低侵襲治療^{※1}の代表として患者さんにおすすめしています。

当院では、腎臓手術の約9割を腹腔鏡手術で行っています。

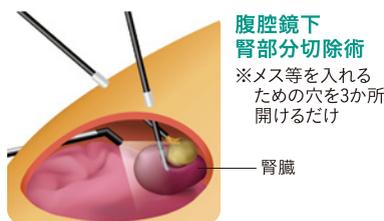
腎臓は、全部取らずにキープする。

腎臓は、血液から老廃物等を取り除き、体内の水分を整える大切な臓器です。機能が下がると、将来的に脳梗塞、心筋梗塞等の合併症を招きやすくなり、寿命が短くなるとされています。

腎臓は、肝臓と異なり、一度切り取ると、二度と再生できません。昔は腎臓に腫瘍ができると全摘する傾向にありましたが、現在は、悪い部分だけを取り除き、可能な限り腎機能を大事に「温存」しています。

腎腫瘍の部分切除の場合、開腹も腹腔鏡も手術に違いはありません。しかし、高度な技術を要する腹腔鏡では阻血時間^{※2}の短縮に医師の技術力が関係します。安全で良質な手術を安定した環境で行うため、私たちは日々研鑽し、技術を磨かねばなりません。

参考までにお伝えしますと、当院の腹腔鏡手術は平均約20分以内で行っています。 ※一般的には約30分が目安です。



女性泌尿器科と連携し、 ナチュラルオリフィスの活用へ。

泌尿器科は、女性泌尿器科と協力し、低侵襲の治療をめざしています。

例えば、骨盤臓器脱。これは、出産や

閉経、加齢によって骨盤を支える筋肉が緩み、膀胱や子宮、直腸が腔から突き出る病気です。その腹腔鏡手術(LSC^{※3})が、今年4月に保険適用となり、当院でも導入されています。

また、腎臓手術においても女性ならではの治療が叶います。腹腔鏡手術には切除した臓器を取り出す穴が必要ですが、条件によってはそれを腔から取り出すこともできるのです。

これは、腹腔鏡等を入れる場合も同様で、おへそや膣など、体のあらゆる自然開口部(ナチュラルオリフィス)を活用すれば、切開の傷を小さくすることができ、体への負担はもちろん、手術あとも減らせます。

今後は、男女を問わず、自然開口部越経管腔的内視鏡手術(NOTES)を活用し、患者さんのQOL(生活の質)の向上をめざします。

※1 患者さんの体への負担が少ない治療

※2 手術のために血流を止める時間で、短いほど有利

※3 腹腔鏡下仙骨腔固定術



腎泌尿器内視鏡外科 部長
泌尿器腹腔鏡手術認定医
ほしりょうへい
服部 良平 医師

名古屋第一赤十字病院奉仕団 感謝状贈呈式を開催しました。

5/27

皆さんは、名古屋第一赤十字病院奉仕団をご存じですか？

皆さんがよく目にされるのは、患者支援相談センター前でエプロンをしている方々でしょうか。主に、入院患者さんの手続きのサポートや、病棟への案内を担当していただいています。

その他にも、総合受付での患者さんの案内のサポートや、自動精算機や再来受付機での案内、超音波室でのおしぼりの整頓作業、車いすのメンテナンス作業など、患者さんと直に接する業務から患者さんからは直接見えないところでの業務まで、病院運営を支えていただいています。

去る5月27日(金)、当院内ヶ島講堂で、当院奉仕団員の方々へ日頃の活動に敬意を表し、感謝状の贈呈式を行いました。

今年、院長から感謝状を贈呈された加藤千代子さんは、なんと昭和60年3月から30年以上にも亘り奉仕団員として当院で活動されているそうです。

この誌面をお借りし改めて、奉仕団の方々の日頃のご尽力に厚くお礼申し上げます。



「幸福」が訪れますようにと、願いを込めて。 ANAグループ すずらん贈呈

6/2

平成28年6月2日(木)、「すずらん贈呈」のため、ANA(全日空)グループの客室乗務員の皆さんが来院されました。

今回で61回目となります。

今年も北海道千歳市から空輸された「すずらんの鉢植え」と「切り花」、グループ職員の方々の直筆メッセージ入り「しおり」をお届けいただきました。

訪問先となった西棟12階の病室では、客室乗務員の方が笑顔で病室を訪ね、患者さんひとりひとりにすずらんの「しおり」、「切り花」を手渡し、励ましの言葉をかけてくださいました。患者さんも笑顔で受け取り、たいそう嬉しそうなお様子でした。

なお、いただいた鉢植えは院内に植え替え、大切に育ててまいります。ありがとうございました。



Information
お知らせ

熊本県地震災害に対して 救護班等を派遣しました。

平成28年4月14日(木)以降熊本県で発生した地震に対して、日本赤十字社愛知県支部と連携し、救護班及び病院支援として職員を派遣しました。

平成28年5月末までに派遣したのは、日本赤十字社愛知県支部災害医療コーディネーターをはじめとして、医師、看護師、薬剤師等救護班2班14名、病院支援要員10名、こころのケア要員2名の合計27名です。

救護班は、日本赤十字社熊本県支部に設置された対策本部から、現地のニーズに合わせ避難所の巡回診療等を行いました。病院支援要員は、地震発生直後から被災者のために断続的に勤務してきた、熊本赤十字病院職員の交代要員として、病院業務のサポートを行いました。

また、こころのケア要員は、被災者に寄り添い心的なケアを目的に活動しました。

全ては被災者のために……



なごやかコンサート

名古屋を中心に活躍されているフルート・オカリナ奏者加藤さんをお迎えし、今年も「なごやかコンサート」を開催いたします。ぜひ会場に足をお運びください。



開催日 平成28年8月15日(月) 15:00～ 西棟1階ホスピタルモール

がんサロン「コスモス」 開催のご案内

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催いたします。予定は右記のとおりです。ぜひご参加ください。

開催日 平成28年
7月26日(火)
8月23日(火)
9月27日(火)



時間 15:00～16:30
会場 東棟2階 会議室1

健康教室、今後の開講予定

参加
無料

テーマ	「がんの化学療法」	開催日	平成28年 7月13日(水)
講師	呼吸器内科部長 野村 史郎 ほか		
テーマ	「緩和ケア」	開催日	平成28年 8月2日(火)
講師	緩和ケア科部長 湯浅 典博 ほか		
テーマ	「救急医療」	開催日	平成28年 9月21日(水)
講師	救命救急センター長 兼救急部長 花木 芳洋 ほか		
時間	14:00～16:00	会場	東棟2階 内ヶ島講堂

外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2016年7月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	
内科	血液	小澤	森下	宮村	小澤	池野	
		瀬戸	佐藤	瀬戸	中島	瀬戸	
		—	PM 宮村	加賀谷	PM 森下	—	
		PM 吉野	PM 中島	PM 尾崎・佐藤	—	PM 加賀谷	
	内分泌	清田	安田	尾崎	尾崎	清田	
		柳沼	岡崎	—	渡邊	柳沼	
	腎臓	遠藤	市田	青井	今井	市田	
	神経	真野 PM(交代)/小森	中村	後藤	真野	後藤	
		馬淵	田中	馬淵	渡邊	田中	
		渡邊	村尾	小森	(交代)	村尾	
循環器	神谷	交代(花木)	神谷	柴田	柴田		
	三浦	嶋野	清水	岡部	森下/(交代)		
	野村	近藤	安田	—	尾崎		
呼吸器	新患	青山	横山	田宮/西山	野村	高納	
	再診	野村	佐野/PM西山	青山	横山	野村	
消化器	—	山田/PM高納	PM 木村	高納/PM山田	横山/PM田宮		
	土居崎	春田	鷺見	山口	春田		
	大橋	山口	村手	西尾	土居崎		
	鷺見/PM高野	西尾/PM青井	長谷川	村手/PM河村	青井		
総合診療	河村	PM 橋口	橋口	PM 長谷川	PM 大橋・八田		
	大庭	松久	隔週第1・3・5 PM 大庭	PM 榛葉	—		
小児科	午前	福見	加藤(病)	安田	鬼頭	岸本	
		中山	大城	坂口	福見	八田	
		濱口	大萱	三井	加藤(病)	竹内	
		水谷	北井	浅井	(交代)	濱崎	
		—	—	—	—	橋本	
	午後(専門外来)	循環器	羽田野	—	—	羽田野	—
		血液	—	加藤(病)	PM 土居崎	吉田	(交代)
		神経	—	—	竹内	大萱	夏目
		腎臓	—	月舘	—	—	—
		新生児発達	鬼頭	中山	新井	安田	大城
フォローアップ	—	—	濱口	—	加藤(病)		
予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—		
乳児健診	—	—	(交代)	—	—		
小児内分泌	—	—	—	—	八田		
アレルギー	(交代)	—	—	—	—		
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。							
外科	一般消化器外科	宮田	竹内	湯浅	永井	宮田/永井	
		三宅	吉岡	奥野	毛利	三宅	
		清水	長尾	浅井	PM 竹内	南	
	乳腺内分泌外科	PM 加藤(病)	—	PM 深田	—	PM 前田	
		—	山崎/PM 後藤	後藤	後藤・河合	PM(交代)	
	心臓外科	澤木伊藤(新患)	伊藤	前川	柳澤	所	
	血管外科	—	山本	錦見(新患)	徳永	—	
	呼吸器外科	森	森/PM 森	岡阪	—	森	
小児外科	加藤(病)	—	—	—	PM 金子		
禁煙外来	毎週火曜日(13時~15時) 石川						
形成外科	林/足立	—	林	—	足立		
整形外科	新患	田中	山賀	井戸	小野田	杉浦	
		大澤	堀井	井上	堀井	大澤	
	再診	井上	山本	八木	洪	石川	
		洪	石川	山賀	山本	八木	
—	小野田・田中	—	杉浦・井戸	—			

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	稲尾	(交代)	稲尾	(交代)	岡本	
	服部		—		—	
	木部		波多野		藤谷	
皮膚科	西田	澤田	澤田	澤田	澤田	
	南部	西田	西田	西田	西田	
泌尿器科	(交代)	南部	南部	南部	南部	
	服部	平林	鈴木(弘)	鈴木(弘)	服部	
女性泌尿器外来	鈴木(省)	—	永山/松井	佐野	平林・松井/永山	
	加藤	加藤	鈴木(省)	加藤(新患)	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患(産・婦)	柵木・安藤	栗林・一	古橋・一	手塚・齋藤	池田・一
	再診	伊藤/PM 三澤	水野/PM 齋藤	坂堂	三宅	西子/PM 福原
	生殖内分泌・内視鏡	齋藤	安藤	—	安藤	安藤
	化療外来	—	(交代)	(交代)	—	(交代)
	妊婦診	古橋	坂田	長尾	猪飼	手塚
パースセンター	PM 江崎	PM 長尾	—	PM 宇佐美	PM 柵木	
	—	池田	—	栗林	—	
眼科	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	
	佐藤	(交代)	佐藤	(交代)	小林	
耳鼻咽喉科	新患	寺田	鈴木(淳)	柵植	伊藤	小林
	再診	柵植	寺田	寺田	柵植	伊藤
リハビリテーション	—	—	—	—	—	
	石川	洪	堀井	大澤	山本	
放射線科	山田	山田	山田	山田	山田	
	平澤	平澤	平澤	平澤	平澤	
●詳細は受付にお問い合わせください。						
歯科口腔外科	新患	大岩	佐藤	(交代)	野田	(交代)
	再診	佐藤	大岩	—	大岩	—
		野田	野田	—	佐藤	—
		佐久間	佐久間	—	佐久間	—
緩和ケア科	早川	早川	—	早川	—	
	緩和ケア外来	火曜日 PM 河合 水曜日 PM 湯浅				

外来診療のご案内

- ◆初診 …………… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方) 紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分～午前11時
(緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …………… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン 専門外来 …………… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
患者相談室 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)



当院は、病院敷地内全面禁煙です。
ご理解とご協力をお願いいたします。

人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- ◆健康管理センター …… 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- ◆受付時間 …………… 月～金曜日(休診日を除く)午前8時50分～午後5時20分
電話052-471-3855(直通)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 外来のご案内 » 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733
<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、
苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するよう努めます。

臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術の習得により、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る能力を身につけることを目的とする。
名古屋西部という都市部における社会構造・高齢化など地域にとって必要な医療を理解し、在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療貢献の修得を目的とする。